

# 近代英語協会ニュースレター

2022年(令和4年)3月19日

近代英語協会事務局分室

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

愛知学院大学文学部前田研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話: 0561-73-1111(内線 3264)

年会費振替口座 00810-9-5821

## 1 近代英語協会第39回大会について

次回大会は、2022年6月25日(土)に名古屋工業大学(名古屋市昭和区)において開催を予定しておりました。しかし、現在においてもコロナ禍が終息する見込みがないうえ、かりにいったんは感染拡大が収まったとしても、すぐさま大人数の集会を開催することが社会的に許容されるかどうか俄かに判断できる状況にありません。こうした事情から、先日開催されたメールによる臨時理事会では、今年度の大会も、昨年に引き続きZoomを用いたオンラインでの大会開催と決定いたしました。事務局では、昨年度の大会の反省を念頭に置き、目下鋭意準備を進めているところです。開催時期は昨年の大会同様、8月下旬の土曜日を考えております。

シンポジウムにつきましては、「コーパスデータによる言語現象の掘り起こし」という共通テーマのもと、司会・講師として塚本聡先生(日本大学教授)、講師として山本史歩子先生(青山学院大学教授)、山崎聡先生(千葉商科大学教授)にご発表いただきます。また、特別講演は、小倉美知子先生(千葉大学名誉教授)に“Ah, you are a travelling scholar!—Verbs of Motion in Medieval English”という論題でお願いしております。ふるってご参加ください。

個人研究発表の締め切りは、ニュースレターおよび協会HPにてご案内いたしましたとおり、2022年1月31日(月)とさせていただきますが、発表者数にまだ若干ゆとりがございますので、4月10日(日)まで再募集させていただきます。先着順に締め切らせていただきますのでご了承ください。発表をご希望の方は、(a)発表題目と400字程度の要旨、(b)氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)・大会発表助成金希望の有無(※参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でご応募ください。様式は、協会ホームページにあります。なお、本協会の趣旨により、発表内容は近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するものとしてください。

(ア) Eメール添付による応募

- ・ (a) 特殊文字を使用される場合はMSWord文書、及びそのPDFファイルを添付
- ・ (b) 特殊文字を使用されない場合はMSWord文書のみを添付

宛先 [m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)

(イ) 郵送による応募

- ・(ア) の (a) または (b) のいずれかを記憶した CD-R
- ・打ち出し原稿

宛先 〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12  
愛知学院大学文学部 前田 満

## ※ 大会発表助成金制度について

本協会では、大会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に大会発表を奨励するため、大会発表助成金制度を設けております。助成対象となるのは、発表を行う大学院生・常勤職のない会員（発表を行う年の4月1日時点で満37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）とさせていただきます。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局の方でいたします。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表応募時は、希望の有無を○で囲む）に詳細を記入し、事務局にご提出下さい。多くの発表の応募をお待ちしております。

## 2 『近代英語研究』第38号の発行について

今回は4編の論文、3編の研究ノート、5編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございました。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。今年6月の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

	論文	研究ノート	書評
掲載可	1	3*	5
掲載不可	3	0	0

\*なお、「研究ノート」の著者1名から論考取り下げのご依頼があり、実際に本誌に掲載される論考は2編となります。

## 3 『近代英語研究』掲載論考の転載（および刊行）許可申請手順について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては、本協会に属するというご理解いただきたいと思います。ただし掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、あるいは、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もおありかと推察されます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただければ、協会から許可書を発行させていただきます。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、論文投稿用のメールアドレス(mode.assoc@gmail.com)までEメールにてご連絡お願いいたします。

#### 4 『近代英語研究』投稿規定の趣旨について

大会個人研究発表の趣旨と同様に、『近代英語研究』投稿におきましても、協会趣旨を明確に反映するために、既に第 35 号より論文および研究ノートの趣旨について、以下の通り改定がなされておりますので、今後ともご承知の上で、ご投稿をお願いいたします。

##### 論文の趣旨:

近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり、未発表の論文であること。先行研究を十分に参看し、確かな研究テーマを設定し、精緻な分析を行い、明確な根拠に立脚し、新しい知見に富んだ独創的論考であること。

##### 研究ノートの趣旨:

近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり、未発表のものであること。確かな研究目的を示し、その学問分野における新しい知見、展望ないしは方向性を予感させる内容を含んでいること。

#### 5 『近代英語研究』第 39 号の投稿締め切りについて

第 39 号 (2023 年 6 月発行) 投稿締め切りは 2022 年 9 月 15 日 (木) となっております。ふるってご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領については、協会ホームページに掲載の最新の「投稿要領」あるいは協会誌第 38 号 (2022 年 6 月発行) に掲載される「投稿規定」をご覧ください。

特に、従来と以下の点が異なっておりますのでご確認ください。

- ・「投稿規定」に定める、総字数の数え方の補足説明の追加および投稿前の留意点の追加
- ・「執筆者情報ファイル」の様式の変更 (研究対象分野、研究対象キーワード等の記載欄を追加)

ご投稿の際は、必ず原稿および執筆者情報を論文投稿用メールアドレス ([mode.assoc@gmail.com](mailto:mode.assoc@gmail.com)) まで 2 つの別々の電子ファイルでメール添付にて送付してください。打ち出し原稿のご送付はお控えください。なお、英語論文に関して、英語を母語としない投稿者については投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。また、他誌への二重投稿はお控えください。

#### 6 新理事の選出について

今年度が開催された理事会において、家入葉子先生 (京都大学)、太田聡先生 (山口大学)、大野英志先生 (広島大学)、野村忠央先生 (文教大学)、山本史歩子先生 (青山学院大学)、吉田江依子 (名古屋工業大学) の 6 名 (五十音順) が選出され、ご快諾をいただきました。新理事の任期は 2022 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の 2 期 4 年です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 7 編集委員の交代について

2022年3月末日をもって島田雅晴先生（筑波大学）および遠峯伸一郎先生（鹿児島県立短期大学）の2名（五十音順）が任期満了となります。2期4年間にわたり編集委員会の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

これを受けて、編集委員会では、後任の編集委員として2名を選出し、茨木正志郎先生（関西学院大学）と西牧和也先生（新潟食糧農業大学）（五十音順）から就任の承諾をいただきました。新編集委員長につきましては、互選により選出を行っているところです。決まり次第、本協会ホームページ、および次号のニューズレター（2022年10月発行予定）にてお知らせいたします。

## 8 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について

賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に優秀な論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性があり優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その栄誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目3の該当欄に「○」をご記入ください。

## 9 『近代英語研究』電子アーカイブ化

J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構）に、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。パソコン等でサイトにアクセスすると、創刊号から第24号（2008）までの論考を、現在ご参照いただけます。近代英語協会ホームページ <<http://www.modernenglish.jp/index.html>> 左下の「協会出版物」からのリンクが便利です。

なお、第25号（2009年発行）以降の論考については、現在掲載の準備を行っております。また、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

## 10 ホームページの図書紹介欄について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。その際、自薦、他薦は問いません（他薦の場合は著者の了承を得てください）。紹介したい著書（翻訳本も可）のタイトル、表紙の写真、および紹介文（800字程度まで）を添付し、IT管理の柳朋宏先生まで電子メールでお送りください。なお、書籍の実物の事務局への送付はお控えください。

## 11 会費納入のお願い

近代英語協会は、皆様の会費により運営されております。会費が未納の方は、恐れ入りますが、速やかにご入金くださいますようお願い申し上げます。なお、3年間未納の場合は、規定により退会となります。

のでご注意ください。2 月末日時点において会費の未納がある場合は、振込用紙を同封いたします。行き違いの場合はご容赦ください。

## 12 終身会員制度の導入について

終身会員の申込資格は次の(1)、(2)のいずれかとなります。

- (1) 66 歳以上、または当該年度中に 66 歳になる会員で、過去 10 年間で会費を全納した会員
- (2) 顧問として承認された会員

申請の際には、所定の申請書を提出し、終身会費 3 万円を払ってください。申請用紙、ならびに払込用紙は事務局長（前田）までメール（[m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)）にてご請求ください。申請された年度より年会費は不要となります。終身会員には大会の懇親会に無料で参加できる特典もあります。

## 13 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、E メールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（前田）までメール（[m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)）にてお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられた場合も、会員種別が「学生会員」から「一般会員」へ変更となりますので、ぜひメールにてお知らせください。 よろしくお願ひいたします。

## 14 『近代英語協会叢書』の原稿募集について

昨年度大会の総会および秋号のニューズレター、協会 HP でご案内いたしましたとおり、今年度から『近代英語協会叢書』という名称で、『近代英語研究』とは別の出版業務が始まります。目的は協会内の研究を振興し、とくに若手研究者に執筆の機会を与えることを主な狙いとし、そして、協会の出版活動を広く宣伝し、新しい会員獲得を目指すことです。第 1 巻は、今林修先生・小倉美知子先生・中尾佳行先生の編集による *Linguistic and Stylistic Approaches to Speech, Thought and Writing in English: Diachronic and Synchronic* (仮題) で、Peter Lang 社から出版予定です。英語の発話、思考、書法に関連する研究を中心に、英語の通時的あるいは共時的研究に資する内容で、当協会の会員であればどなたでも投稿可能です。投稿締め切りは 2022 年 10 月 31 日 (月) となっております。ぜひふるってご応募ください。投稿方法および執筆要領等の詳細については、同封の執筆要項をご参照下さい (ただし執筆要項、書式見本および Peter Lang Style Guidelines については、協会 HP でもご覧いただけます)。 『近代英語協会叢書』について何かご不明の点がございましたら、事務局長（[m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)）までお気軽にお尋ねください。なお、諸般の事情により、昨年秋号のニューズレターに記載した投稿締め切り期日が変更になりましたことをご詫言申し上げます。

## 15 事務局より

あと少しでコロナ禍も3年目に入ろうとしています、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大も今回ですでに6波を数えました。コロナ禍がいつまで続くのか不安な日々を送られている会員の皆様も多いかと推察いたします。実際のところ、すでにコロナ禍は世界経済や大学業界にも深刻な影響を及ぼすなど、前代未聞の大災害となっております。そのような状況下で、上記のとおり、来年度の大会もZoomを用いた遠隔開催とすることが理事会において決定されました。私は大学の業務のため、2019年の第36大会にも参加できませんでしたので、今年で4年間皆様にお会いできないことになり、誠に寂しいばかりです。遠隔開催にメリットがないとまでは言いませんが、やはり実際に皆様に対面でお会いする喜びには代えられません。こうした中でも、当協会は今年度からさらなる発展に向けて新たな挑戦を開始します。上記のとおり、『近代英語協会叢書』と銘うって、新規の出版業務を始めることになりました。執筆は原則的に会員のみの特権です。詳細は同封の執筆要綱を参考にしてください、ぜひふるってご投稿ください。また、この件を院生など若い研究者に周知し、ぜひ当協会への入会をお勧めください。では、今年も遠隔で残念ですが、皆様に大会でお会いするのを楽しみにしております。

— 事務局長 前田 満

なお協会に関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願い致します。

- 協会誌について  
船田佐央子 鈴木大介 (mode.assoc@gmail.com)
- ホームページについて (会員の出版された図書紹介もお寄せください)  
柳朋宏 (yanagi@isc.chubu.ac.jp)
- 会費について  
横越 梓 (yokogoshi@nitech.ac.jp)
- その他全般について  
前田 満 (m-maeda@dpc.agu.ac.jp)